

# はしか(麻疹)の流行にご用心!

※特にご用心:麻疹の予防接種を過去1回しか接種されていない28歳~50歳未満の方  
2019年はしかの患者が増えている。今年に入って全国20都道府県で167人に上り、この10年で最多だった2009年同時期を上回る。世界的にも患者が増加。外国からの帰国者や入国者の発症も多い。東京五輪・パラリンピックを控えて今後さらに海外との人の行き来が増える。  
専門家はワクチン接種を呼びかける。

- 麻疹ウイルスによる感染症です。
- 空気感染や飛沫感染など、様々な感染経路をとり、非常に感染力が強く、手洗いやマスクでは防げません。
- ヒトからヒトへ非常に極めて強い感染力を持ち、1人の発症者から12~14人に感染させるといわれています。※感染力はインフルエンザの10倍!
- はしかの免疫がない人が感染すると、90%以上の高確率で発症します。

## <麻疹の症状>

潜伏期間は10~12日です。

最初は鼻水や咳、発熱などの風邪に似た症状が出ます

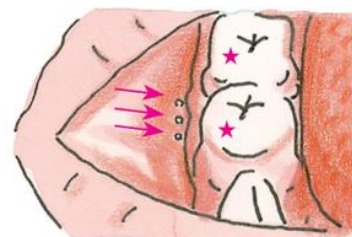
※最初は診断が難しいですが、実はこの時期の感染力が最も強いです  
その後一旦解熱したあと再び発熱し、特有の赤い発疹が全身に出ます  
※頭や顔から先に出ます。

口の中にコプリック斑という白く細かい斑点が一時的に出現します。

熱は7~10日ほど続き、しんどいため入院することも多いです。

その後発疹は色素沈着を残して消えていきます。

症状が回復しても、しばらく免疫力が低下して他の感染症にもかかりやすく、しっかり回復するまで1か月くらいかかります。



口腔内の、大臼歯(★)に面する頬粘膜に粟粒大の白色の水疱(→)がコプリック斑。麻疹に特異的で、全身の発疹が出ていなくても、コプリック斑があれば麻疹と診断できる

## <治療>

残念ながら治療法はなく、解熱剤や点滴などの対症療法が中心です。

## <合併症>

30%の患者さんに何らかの合併症が出現します

その半数は肺炎です。死因で多いのは肺炎と脳炎です。(脳炎・中耳炎・肺炎)

▲亜急性硬化性全脳炎(SSPE)

麻疹にかかった7年後くらいに発症する難病ですとても予後が悪いです。

<感染を防ぐには?>麻疹の感染力は強力マスクや手洗いでは防げません。

唯一の予防手段はワクチン接種のみです。

2回接種で十分な免疫が付きます(97~99%)

50歳以上は流行した時代で自然免疫があります。

1990年4月以降に生まれた方は2回接種世代→接種していれば大丈夫。

1990年4月1日より前に生まれた50歳未満の方は1回接種世代で免疫が不十分。



発熱や発疹等の症状で麻疹かも、と思った場合には病院受診が必要ですが、受診前に必ず病院に電話をしてください。

1 病院にまず電話

あらかじめ病院に麻疹の可能性を考えていることを電話で伝える。

いきなり行かない

2 自家用車で病院を受診

- 公共交通機関は使用しない。
- 自家用車がなければワクチンを2回接種済みの方や中高年の方に送迎してもらって受診。
- 途中で寄り道をしない。

寄り道をしない 公共交通機関を使わない